

海水資源・環境セミナー

URL : <http://www.swsj.org/p11/kaisuisigen/kaisuisigenf1.html>

日本海水学会海水資源・環境研究会では、海水資源・環境セミナーを開催いたします。本セミナーは勉強会と位置づけていまして、多くの方々にご参加頂いて活発な意見交換をして頂きたいと思っております。

主催：日本海水学会 海水資源・環境研究会

日時：2015年11月13日(金) 14:00～17:00

セミナー終了後、技術交流会を開催いたします。(17:15～18:45を予定)

場所：千葉工業大学津田沼キャンパス 5号館 6階会議室 (6階エレベーターホールに受付を設置)

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1

JR総武線/津田沼駅(南口)下車 徒歩1分

京成線/京成津田沼駅下車 徒歩15分

新京成線/新津田沼駅下車 徒歩3分

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma.html>

◇次ページのアクセスマップを参照ください◇

概要：

○海水資源利用を目指した溶存カルシウム・マグネシウムの回収と高品位化

日本大学生産工学部 准教授 松本 真和氏

製塩や淡水化プロセスの高効率化を図るためには、既存プロセスの複合化、既存プロセスにおける資源回収法の見直し、未利用資源の新規回収・高品位化法の開発を行う必要があります。ここでは、模擬濃縮海水へのCO₂気泡の微細化導入によるCaCO₃およびMgCO₃の結晶品質(多形・粒径)制御、および得られたCaCO₃を出発原料としたHAPの製造について解説して頂きます。

○海水利用技術におけるエネルギーの有効利用についての提案

中央大学理工学部 教授 村瀬 和典氏

持続可能な海水利用プロセスを目指して、自然エネルギーを活用する持続可能型で、再生可能なエネルギーを活用する循環型複合的プロセスに関する動向について解説して頂きます。

○三機工業の蓄熱技術についてのご紹介

三機工業株式会社 技術研究所 佐々木 賢知氏

通常捨てられる排熱を利用可能な熱として供給することは、省資源・省CO₂効果が大きいといえます。この排熱利用を拡大する手段として三機工業株式会社が提案する潜熱蓄熱と、検討中の化学蓄熱についてご紹介頂きます。

○リチウム資源循環型社会を目指したイオン伝導体による海水からの新分離技術

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 星野 毅氏

電気自動車用等の大型リチウムイオン電池の市場は急拡大が予想され、今後、大量のリチウムが必要になります。海水中に含まれる、ほぼ無尽蔵のリチウムによる国内資源確保を目指して開発した、イオン伝導体による、発電しながら海水からリチウムを回収する世界初の技術について解説して頂きます。

参加費：3,000円

申込方法：氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、E-mail)を以下の申込先にE-mail等でご連絡下さい。

申込・問合せ先：〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂4-13-20

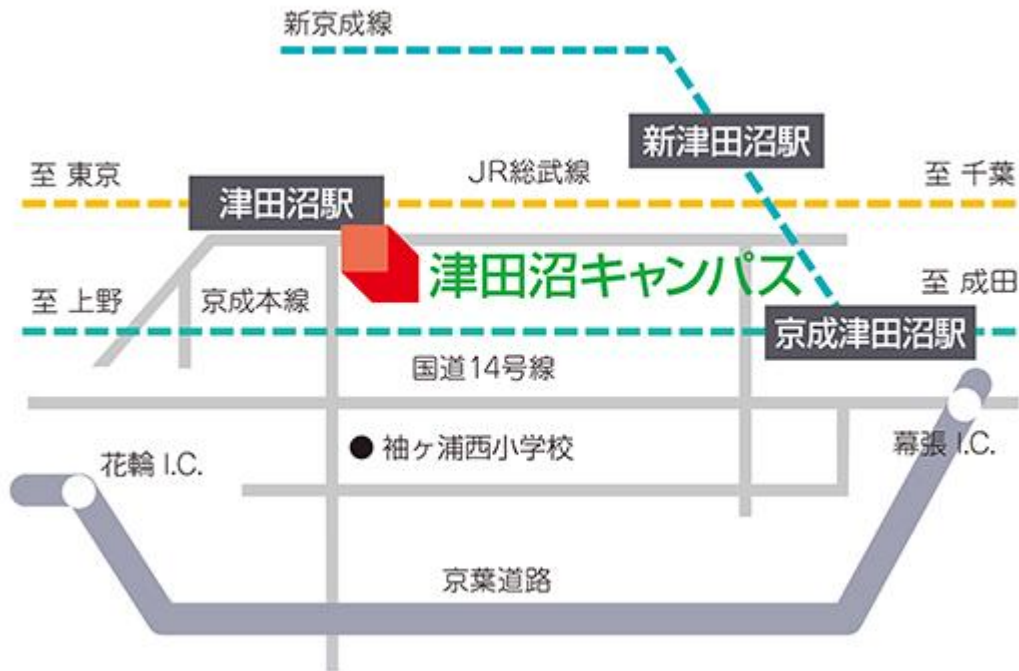
公益財団法人塩事業センター海水総合研究所(担当：加留部、鴨志田)

Tel: 0465-47-3161, E-mail: shigen@swsj.org

申込締切：11月9日

当日の問合せ先：090-3473-5113(鴨志田)

千葉工業大学津田沼キャンパスアクセスマップ



千葉工業大学津田沼キャンパス内マップ

